

根室港花咲港区屋根付き岸壁供用式典を開催

北海道開発局 釧路開発建設部

根室市と釧路開発建設部は、令和7年10月4日(土)根室市総合文化会館を会場として、「根室港花咲港区屋根付き岸壁 供用式典」を開催しました。当日は、北海道選出の国会議員をはじめ関係者約70人の出席のもと、石垣根室市長、畑山釧路開発建設部長の式辞で始まり、森橋大臣官房技術参事官の挨拶、鈴木貴子衆議院議員、篠田奈保子衆議院議員、伊東良孝衆議院議員、鈴木宗男参議院議員、長谷川岳参議院議員、佐藤英道衆議院議員からの来賓祝辞(代読、ビデオメッセージ含む)、祝電披露、事業概要報告、大坂根室漁業協同組合代表理事組合長からの利用者代表挨拶が行われました。その後、式典会場での「テープカット」と根室港花咲港区屋根付き岸壁における地元小学生による「くす玉開披」を同時に行い、屋根付き岸壁の現地状況を映像配信し、盛会のうちに式典を終えることが出来ました。

当施設は、北海道内6港湾管理者により策定された農水産物輸出促進計画に基づき整備を進め、-5.5m岸壁191m及び-6.0m岸壁130mの岸壁延長に屋根施設全3棟(1棟75m)が令和7年8月に完成を迎える事ができました。

当施設は、建設から50年以上経過しており、本体工

の劣化やエプロン舗装の段差・クラックが発生し、老朽化が著しい状況にあり、荷役作業に支障を来していました。また、鳥や日射等による水産物の品質低下といった課題がありました。こうした中、屋根付き岸壁が供用されたことにより、水産物の品質確保に加え、岸壁の拡幅により、効率的かつ安全な荷役作業に寄与するとともに、雨・風・雪を防ぐことで、施設利用者の就労環境の改善が図られたところです。

根室港花咲港区は、サンマの水揚げ拠点として利用されており、水揚量15年連続日本一、水揚額27年連続日本一を誇り、全国総生産量のうち、5割以上が水揚げされており、ここ数年、水揚量が低迷していましたが、本年は魚体も良く、漁も好調に推移しているところです。今後、サンマを中心とした高品質で安全な水産物の確保により、市や漁業関係者で構成される根室市アジア圏輸出促進協議会を通じ、より一層の販路拡大に繋がるものと期待しております。第9期北海道総合開発計画に掲げる食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展のため、官民の垣根を越えた「共創」を更に推進してまいります。



石垣市長の式辞



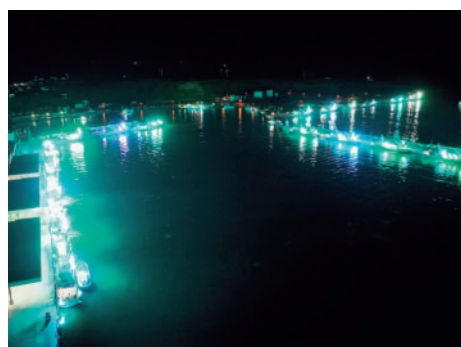
鈴木貴子衆議院議員からのビデオメッセージ



テープカットとくす玉開披



完成した屋根付き岸壁



根室港花咲港区



さんまの水揚げ状況